

ステークホルダを中心とする ゴール優先度決定プロセスの提案

2008MI105 木下康介

2008MI274 山下和希

シナリオ

- 研究の全体像
- 相互作用マトリクスの自動生成
- プロジェクトの木構造
- まとめと今後の課題
- 参考文献

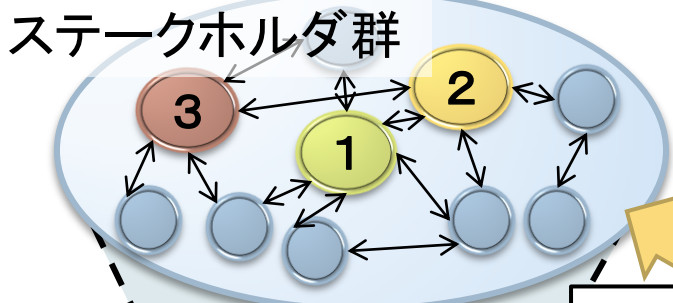
研究の全体像[1/2]

ステークホルダの絞り込みによる、分析情報を限定したゴール優先度決定プロセスを提案

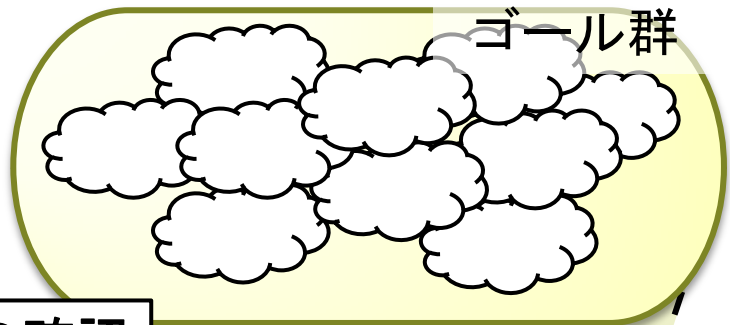
情報量

多
絞り込み

ステークホルダ多様化により関係性の複雑化



ステークホルダの持つゴールが多く複雑化



(A)絞り込み

(C)妥当性の確認

主要ステークホルダ

(B)ゴール抽出, 分析

少

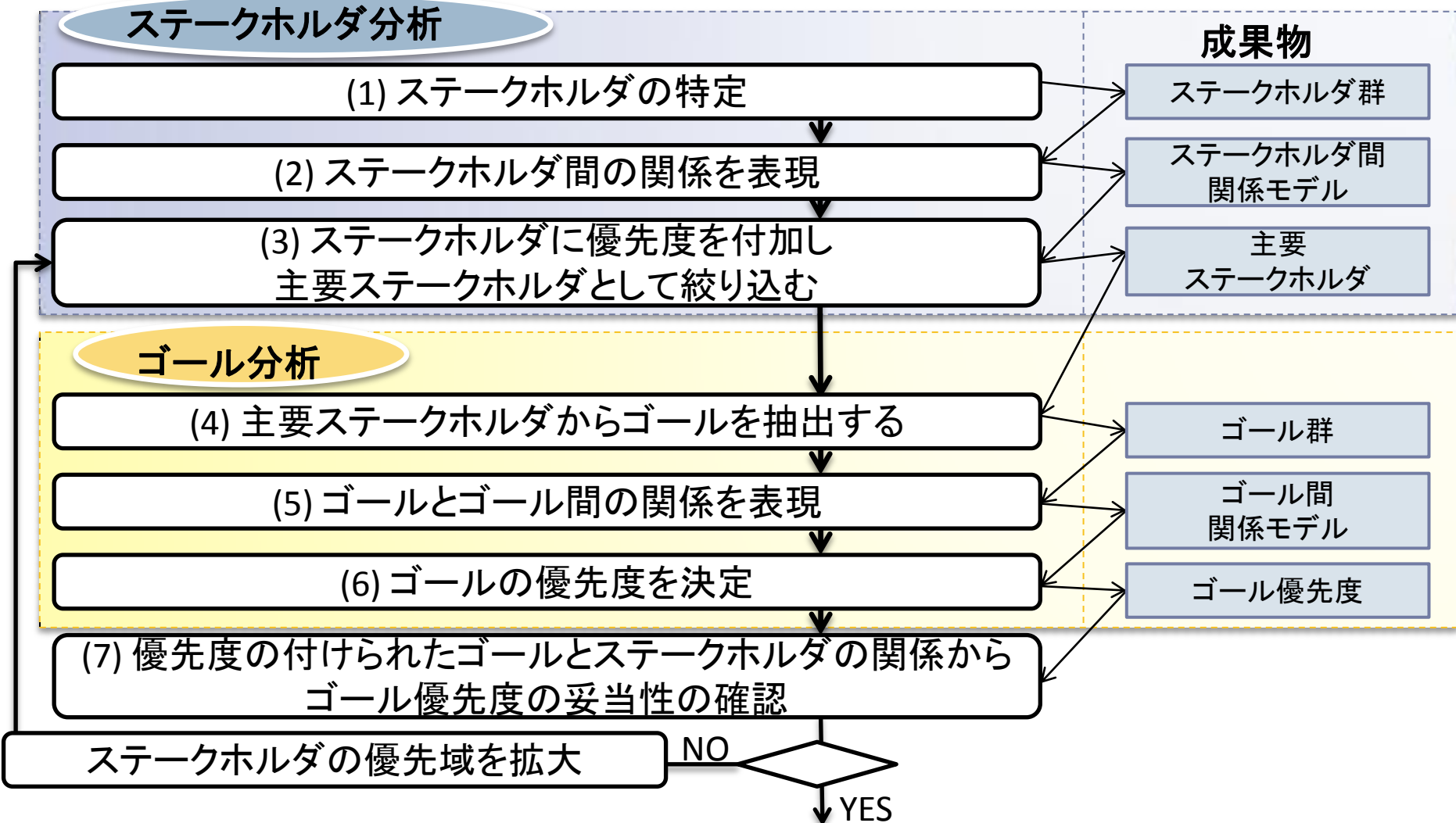
ステークホルダ絞り込み, 情報量の限定

ゴールに優先度を決定し, 開発対象ゴールの明確化

ステークホルダ間, ゴール間の関係を理解し分析可能

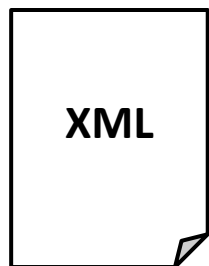
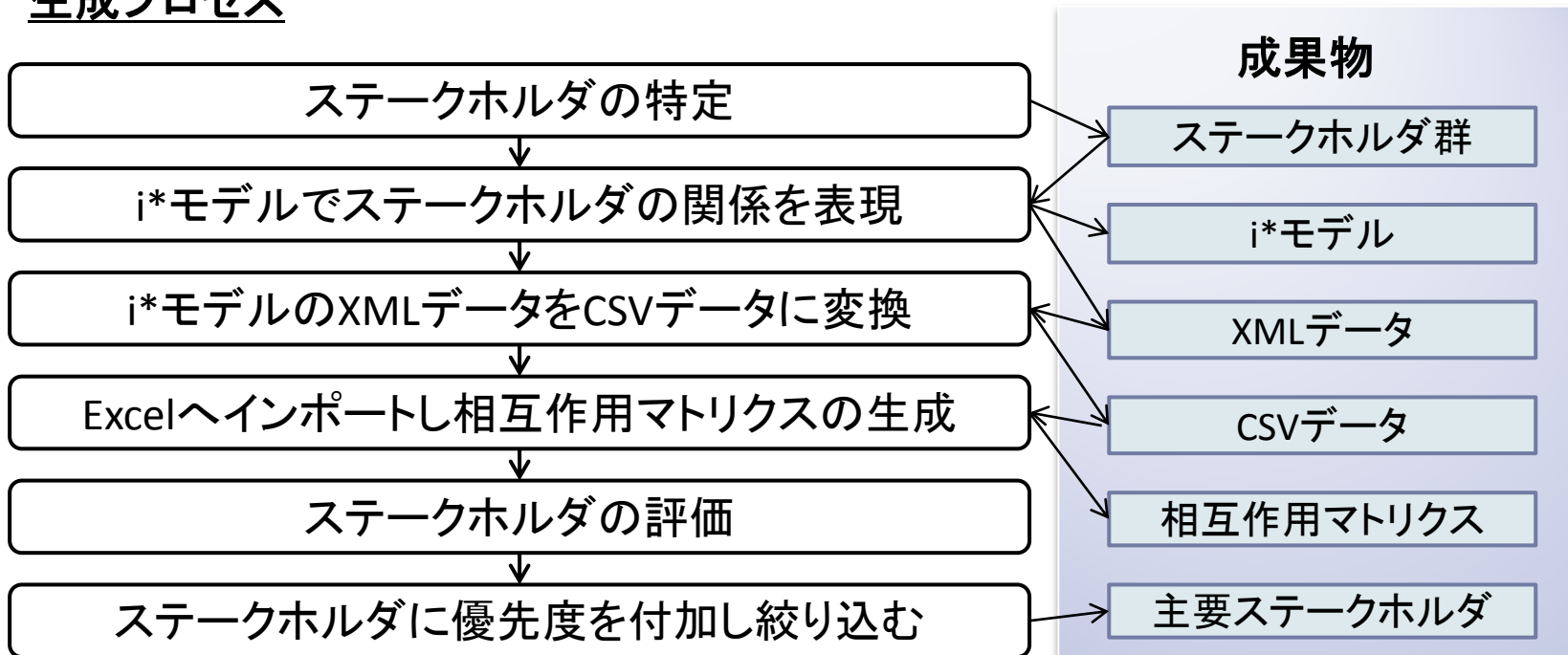
研究の全体像[2/2]

ゴールの優先度決定プロセス

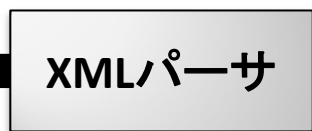


相互作用マトリクスの自動生成[1/3]

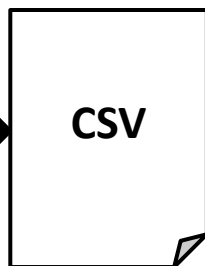
生成プロセス



XML



XMLパーサ



CSV

相互関係	結果	SH(A)	SH(B)	SH(C)	総和 (AS)	能動的
原因						
SH(A)						
SH(B)						
SH(C)						

相互作用マトリクスの自動生成[2/3]

XMLデータの内部構造

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<xmi:XMI xmi:version="2.0" ... >
  <edu.toronto.cs.openome_model:Model xmi:id="_2RkzoAkbEeGHmqSyXZBPQg">
    <dependencies ... />
    <dependencies ... />
    <dependencies ... />
    <containers ... name="アクタA">
      <intentions ... name="タスクA"/>
      <intentions ... name="タスクB"/>
    </containers>
    <containers ... name="タスクB">
      <intentions ... name="タスクC"/>
    </containers>
  </edu.toronto.cs.openome_model:Model>
  <notation:Diagram xmi:id="_2RkzoQkbEeGHmqSyXZBPQg" type="openome_model"
    element="_2RkzoAkbEeGHmqSyXZBPQg" name="default2.ood" measurementUnit="Pixel">
    :
    :
    :
  </notation:Diagram>
</xmi:XMI>

```

リンク情報

アクタ情報

タスク情報

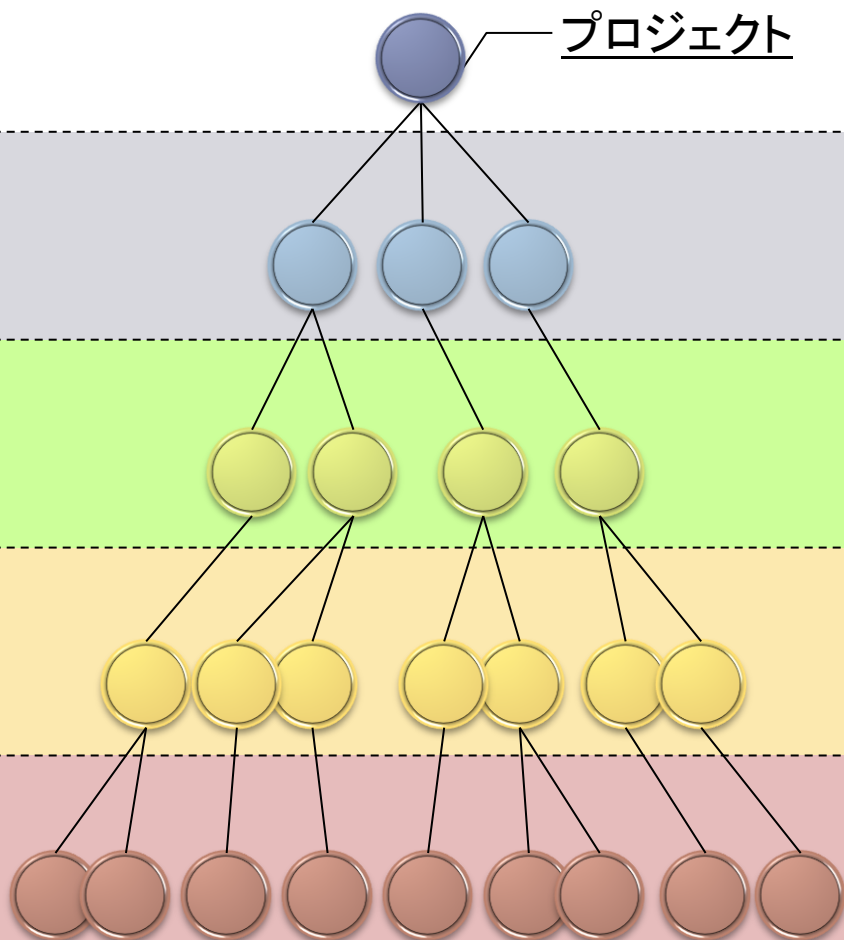
アクタ情報

タスク情報

図式情報(図形の位置など)

プロジェクトの木構造[1/3]

プロジェクトのデータ構造を木構造で表現



ステークホルダ層

プロジェクトに対して特定された
ステークホルダ

役割層

ステークホルダの持つ役割

活動層

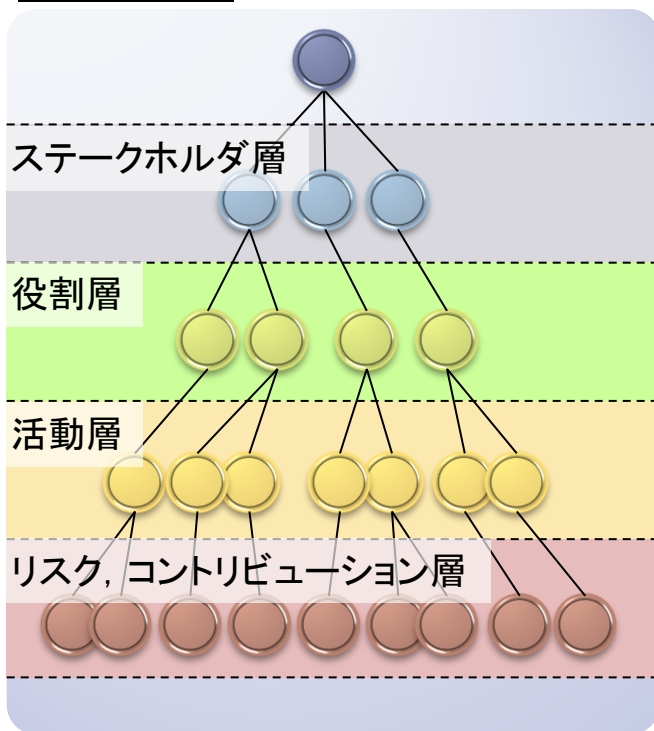
ステークホルダの持つ役割における
活動

リスク, コントリビューション層

活動によってプロジェクトに及ぼす
リスクやコントリビューション

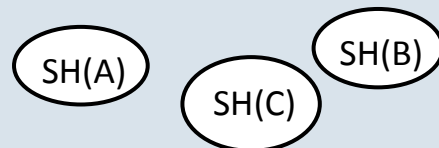
プロジェクトの木構造[2/3]

分析手順

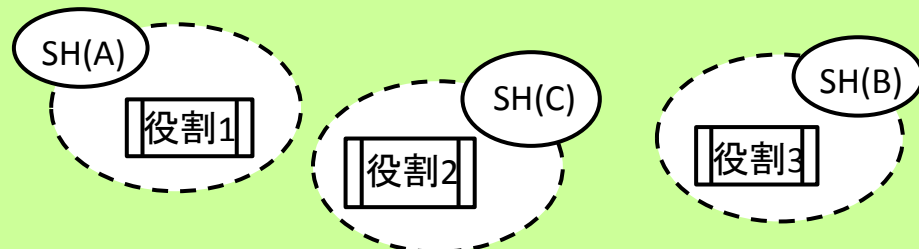


段階的に情報を付加, 分析を行うことで, 情報の見落としを減らすことが可能

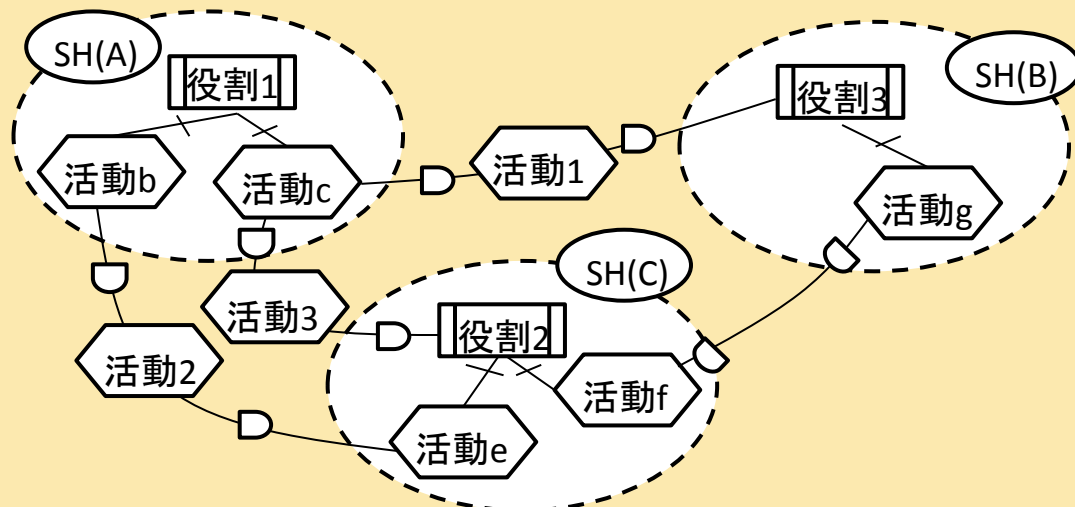
(1) ステークホルダの特定



(2) ステークホルダの役割抽出

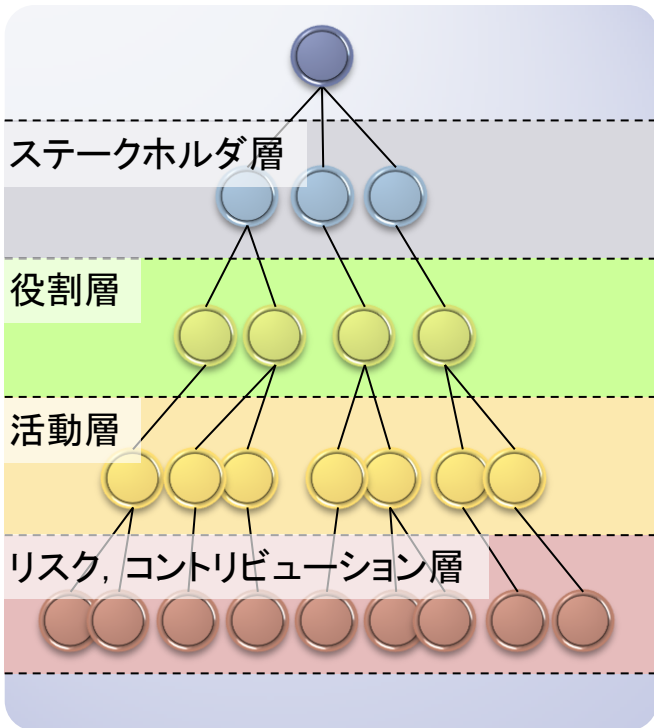


(3) 役割における活動の抽出



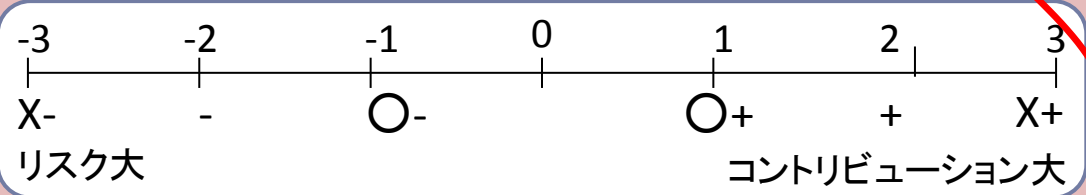
プロジェクトの木構造[3/3]

分析手順



(4) 活動におけるリスク, コントリビューションの分析

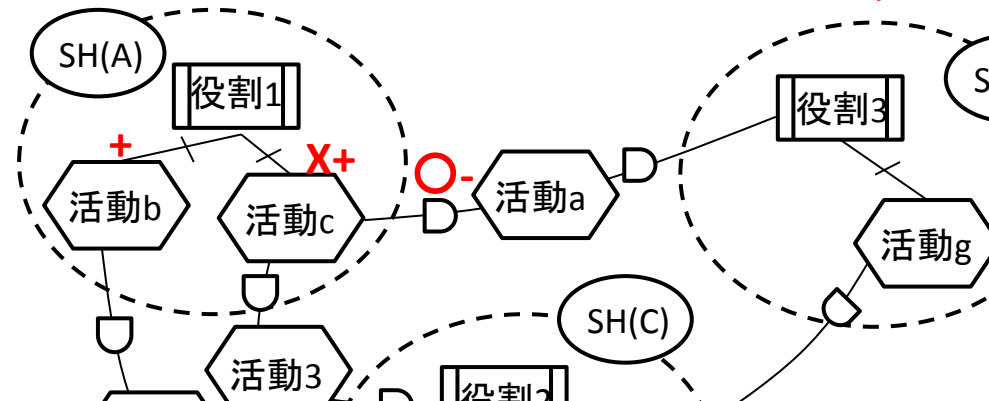
活動	リスク, コントリビューション	評価
活動a	リスク	-1
活動b	コントリビューション	2
活動c	コントリビューション	3
:	:	:



(6) 相互作用マトリクスの作成

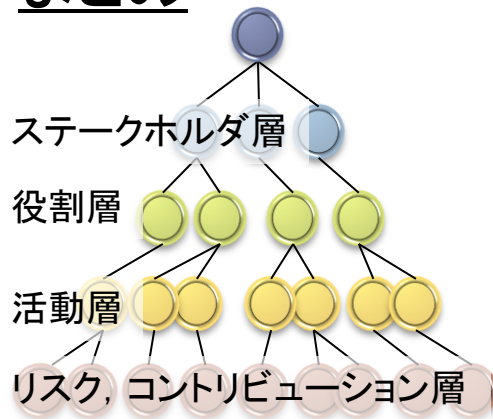
相互関係 原因	結果	SH(A)	SH(B)	総和	活動値	総和(S)	能動的	(AS/PS)
SH(A)	活動a							
	活動b							
:	:							

(5) リンク属性の付加



まとめと今後の課題

まとめ



OpenOMEで生成されるXMLの木構造を拡張

役割層, リスク, コントリビューション層を追加

リスク, コントリビューションを分析することで, リンク属性の付加

段階的に情報を付加し, 分析することで
情報の見落としなどを軽減

今後の課題

ステークホルダ分析のプロセスの定義

1. リスク, コントリビューション分析方法の定義
2. 相互作用マトリクスの評価の見直し
3. 相互作用マトリクスでのステークホルダの優先順位決定
4. 例題に適用し分析プロセスの有用性確認



1. 相互作用マトリクス自動生成
2. ゴール分析方法の定義

参考文献

- D. Glaesser, Crisis Management in the Tourism Industry, くんぷる, 2008
- E. Yu , Social Modeling for Requirements Engineering , 2010.
- i* Intentional Strategic Actor Relationships modelling ,
<http://www.cs.toronto.edu/km/istar/#Software>.

ステークホルダを中心とする ゴール優先度決定プロセスの提案 END

2008MI105 木下康介
2008MI274 山下和希